

障害の重い子どもの 評価と支援

坂口 しおり 著

コミュニケーション支援の実践から



ジダイ社

定価：本体 1,700 円＋税
B5判 140ページ
ISBN978-4-909124-31-9 C3037

新刊
案内

障害の重い子どもの評価と支援 コミュニケーション支援の実践から

障害の重い子どもの支援のあり方を考える場合、子どものどの能力が、どの発達段階にあるのかを適切に評価することが鍵となります。本書は、著者が開発した「重度障害児の発達評価シート」（2006年）を活用し、適切なコミュニケーション評価（発達評価）に基づいて支援の方向性を検討することを、実践事例（指導場面）の紹介を通じて提案するものです。

指導場面については、より理解が深まるよう写真を用いて解説を加えるとともに、「重度障害児の発達評価シート」による評価例もあわせて掲載しています。

●著者 坂口 しおり

東京都立八王子東特別支援学校副校長

専門は重度重複障害児への指導全般、言語指導、コミュニケーション指導、摂食指導、インリアル・アプローチ、健常児のコミュニケーション発達。

第1章 障害の重い子どもの評価と支援の方向性

1. 障害の重い子どもの評価

- (1) まずはゆったりと
- (2) 子どもの動きに合わせて ～SOULの姿勢で～
- (3) 障害の重い子どものコミュニケーション評価
- (4) 子どもの全体像を理解するためのコミュニケーション評価
- (5) 実際の評価
 - 1) あいさつ・握手場面
 - 2) オルゴール場面
 - 3) ドーム・スイッチ場面
 - 4) 棒スイッチ場面
 - 5) 生活再現（おままごと遊び）場面
- (6) 発達評価シートの結果
- (7) 評価から目標設定へ

2. 支援の方向性

- (1) 評価の考え方
- (2) 評価から支援へ
- (3) 発達を促す学習 ～感覚や動きの支援～
- (4) 規則性の学習と手段-目的関係
- (5) 規則性の学習の前提となるもの
- (6) 学習場面の設定

第2章 障害の重い子どもの支援の実際 ～様々な支援アプローチ～

1. 見る力をつけよう ～見る・見続ける・音源を確認する～

- 1) 注視・追視の練習 ～しっかり見続けよう～
- 2) 音源の確認 ～どこから聞こえてくるのかな～
- 3) 音源の確認 ～一人で聞いてみよう～

2. 手首を伸ばして学習姿勢を作ろう ～手のストレッチ～

- (1) 手首について

- (2) 手のストレッチ

- (3) 支援の実際

- 1) 手首のストレッチ

- 2) 指のストレッチ

- 3) 肘のストレッチ

- 4) 学習姿勢をつくろう

- 5) ひらがなを選んでみよう

3. スイッチ操作を理解しよう ～手段-目的関係の理解～

- (1) 手段-目的関係を理解する

- (2) スイッチ操作の理解

- (3) 支援の実際

- 1) 棒スイッチに挑戦

4. 手を使ってみよう

4-1. 手を組んでいる子どもへの支援

- (1) 本当に触りたくないの？

- (2) 手を使うことへのアプローチ

- (3) 達成感と意図の共有

- (4) 支援の実際

- 1) 手を使ってみよう ～手をおもちゃに乗せてみる～

- 2) 繰り返しの練習

- 3) 達成感から意図の共有へ～先生、見ててくれた？～

4-2. 手を出しにくい子どもへの支援

- (1) 規則性の学習

- (2) 見ることの難しさ

- (3) 手を使うことの難しさ

- (4) 手を使うことへの支援

- 1) 原子反射を抑制する

- 2) 粗大運動から微細運動で目的を達成できるようにする

- 3) 持続できる動きを獲得する

- 4) 次の動きに向かう動きを獲得する

- 5) 動きのイメージをもてるようにする

〈裏面に続く〉

- (5) 支援のポイント
- (6) 支援の実際
 - 1) スイッチを押してみよう
 - 2) 紙破きは不思議だね
 - 3) 絵本だってめくれるよ
 - 4) リングを取ってみよう
 - 5) ねじってフタを閉めよう
 - 6) お人形の食事
 - 7) ギュッと抱きしめて
- 5. 動きを引き出そう ～反応の弱い子どもへの支援～
 - (1) 反応の弱い子どもとのやりとり
 - (2) まずは子どもの動きに合わせて～SOULの姿勢で～
 - 1) SOULの姿勢で子どもと向き合う
 - (3) 表情の変化を引き出す
 - 1) 眉毛のマッサージ
 - 2) 口周辺のマッサージ
 - (4) 手を使えるようにする
 - (5) いろいろな物に触って、気づいてね
- (2) Aさんのコミュニケーション評価～「発達評価シート」から～
- (3) 実際のやりとりから
- (4) 手を使う課題の設定と「動きのことば」の学習
- (5) Aさんの指導場面～持つ、入れる、引っ張るを覚えよう～
 - 1) 「持つ」をやってみよう
 - 2) 「入れる」をやってみよう
 - 3) 「引っ張る」をやってみよう
 - 4) 初回の指導場面から
- (6) 半年後のAさん
- (7) 目と手を協応させる動きについて
- (8) 筋緊張が強い子どもへのアプローチ
- (9) 半年後のAさんの指導場面
- (10) 手をスイッチにもっていく練習
- (11) ドーム・スイッチに手を下ろして押す練習
- (12) Aさんの様子
- (13) 1年後のコミュニケーション評価
- (14) その後の指導
 - 1) ことばを理解する
 - 2) 絵カードや○・×での選択
 - 3) 教室でのAさん
- (15) 最後に

第3章 評価と課題の設定、支援の考察 ～「発達支援シート」の活用～

1. 視機能の向上を目指した支援

- (1) 見ることの学習
- (2) 指差しと共同注意
- (3) Aさんの評価と課題の設定
 - 1) Aさんについて
 - 2) 指導前の評価
 - 3) 課題の設定
- (4) Aさんの指導場面
 - 1) 指導開始時
 - 2) 1年後のやり取り
 - 3) 2年後のやりとり
- (5) 結果と考察

2. 手を使うことへの支援

- (1) Aさんについて

巻末資料 重度障害児の発達評価シート

- (1) はじめに
- (2) コミュニケーション評価の6つの観点
- (3) 発達段階の6つのレベル
- (4) 行動の読み取り
- (5) 発達評価シートの記入
- (6) 評価チェックシート・支援効果換算シートの作成
- (7) プロフィールチェックシート・プロフィール換算シート・プロフィールシートの作成

コミュニケーション発達支援研究会・東京INREAL研究会のご案内

ご注文は **FAX：048-711-1804** ジダイ社まで ※合計金額が5,000円に満たない場合、送料350円を申し受けます。もしくは、出入りの書店にご注文をお願いいたします。

連絡先	機関名：		ご担当者：
	住所：〒		
	TEL：		FAX：
	必要書類：		
番線印（書店利用の場合）	注文冊数	IISBN978-4-909124-31-9 C3037	
		障害の重い子どもの評価と支援 コミュニケーション支援の実践から 著者：坂口 しおり 冊 B5判並製 140ページ 本体1,700円	

お問合せ 株式会社ジダイ社 担当：佐々木まで (TEL：048-711-1802)